



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サノヤス・ヒシノ明昌

コード番号 7020 URL <http://www.sanoyas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員

(氏名) 森本武彦

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,042	△5.4	919	△21.6	975	△19.1	491	52.5
23年3月期第1四半期	18,021	36.8	1,172	—	1,205	461.4	322	160.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 475百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	15.10	—
23年3月期第1四半期	9.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	75,638	14,794	18.4
23年3月期	77,124	14,518	17.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,926百万円 23年3月期 13,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,500	△0.3	3,000	38.8	2,800	34.2	1,700	123.9	52.18
通期	74,000	5.9	6,300	62.6	6,000	59.9	3,000	101.0	92.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	32,600,000 株	23年3月期	32,600,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	22,265 株	23年3月期	22,265 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	32,577,735 株	23年3月期1Q	32,577,855 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
4. 補足情報.....	10
販売及び受注の状況.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による被災企業の復旧やサプライチェーン回復に向けた取組みなどにより幾分持ち直しの動きもありましたが、国内の電力不足問題や欧州財政問題の高まりに加え円高が続くなど、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境においても、船舶部門では中国からの供給圧力により新造船の船価が低迷する一方、鋼材価格の値上げ要請に接しました。

陸機部門及びその他の部門からなる陸上事業では、東日本大震災の影響もあり、国内市場の設備投資や個人消費の低迷により引続き厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループでは新造船については、環境及び省エネに対応した新83千重量トン型のパナマックス・バルクキャリアーを中心にバルクキャリアーの営業に注力しました。陸上事業においても、顧客ニーズに即した新商品の開発と営業に注力しました。

また、今後当社グループの持続的発展、企業価値の向上を図るためには、現在の組織体制を一新して連結経営のレベルアップを図ることが必要であると判断し、単独株式移転により持株会社を設立し、その傘下に4つの事業グループを設定、個別事業ごとに分社した各事業会社と既存の子会社等を同列に配置した組織に再編することと致しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内設備投資と個人消費の低迷による陸機部門及びその他の部門の売上減少により、前年同四半期比978百万円(5.4%)減少の17,042百万円となりました。営業利益は、船舶部門における受注工事損失引当金の計上等により前年同四半期比253百万円

(21.6%)減少の919百万円となり、経常利益は229百万円(19.1%)減少の975百万円となりました。四半期純利益は、前年同四半期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等の特別損失が減少したことから、前年同四半期比169百万円(52.5%)増加の491百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①船舶部門

当第1四半期連結累計期間において、厳しい受注環境の中、新造船については為替及び資機材価格動向を見極めつつ受注活動を行い、新83千重量トン型のパナマックス・バルクキャリアー等3隻を受注しました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は124,380百万円となりました。新造船の引渡しは、パナマックス・バルクキャリアー3隻であり、修繕船等を加えた当該部門の売上高は、前年同四半期比149百万円(1.1%)減少の13,826百万円となりました。営業利益は、新造船において生産性向上に努めましたが、鋼材価格上昇と円高に伴い次年度以降に引渡す船舶の受注工事損失引当金を844百万円計上したこともあり、前年同四半期比1,002百万円(39.4%)減少の1,541百万円となりました。

②陸機部門

立体駐車装置、建設機械、遊園機械の製造及び遊園地運営等を行う陸機部門においては、設備投資と個人消費の低迷に伴い当第1四半期連結会計期間末の受注残高は1,482百万円となりました。売上高は、設備投資の低迷から前年同四半期比178百万円(10.7%)減少の1,488百万円となりました。損益面は各種合理化によりコストダウンに取り組みましたが、豪州観覧車の保証工事引当金154百万円を追加計上したこと等から125百万円の営業損失(前年同四半期は1,060百万円の営業損失)となりました。

③その他の部門

主として連結子会社の事業である空調・給排水・環境工事、機械部品製造、化粧品製造用機械等のその他の部門においては、国内設備投資の低迷に伴い当第1四半期連結会計期間末の受注残高は2,077百万円となりました。売上高は、空調・給排水・環境工事等の減少により前年同四半期比650百万円(27.4%)減少の1,727百万円となりました。営業利益は、売上高の減少に伴い107百万円(51.5%)減少の101百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,157百万円減少し、50,606百万円となりました。これは、売掛金が397百万円、未収消費税等が958百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて328百万円減少し、25,031百万円となりました。これは有形固定資産が162百万円、投資有価証券が130百万円及び繰延税金資産が62百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,555百万円減少し、43,030百万円となりました。これは買掛金が459百万円、前受金が1,589百万円、保証工事引当金が727百万円それぞれ減少し、受注工事損失引当金が840百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて206百万円減少し、17,812百万円となりました。これは長期借入金の返済により134百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて276百万円増加し、14,794百万円となりました。これは、利益剰余金が292百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期業績につきましては、概ね計画通りに進捗しており、変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結累計期間より、特定子会社に該当しないサノヤス・エンジニアリング(株)について、重要性が増したため新たに連結範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,902	28,733
受取手形及び売掛金	16,439	16,355
有価証券	50	—
商品及び製品	154	186
仕掛品	1,312	1,422
原材料及び貯蔵品	512	525
その他	4,545	3,415
貸倒引当金	△153	△31
流動資産合計	51,764	50,606
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	7,507	7,487
機械及び装置(純額)	4,719	4,579
土地	5,197	5,195
有形固定資産合計	17,424	17,262
無形固定資産	620	651
投資その他の資産		
投資有価証券	4,485	4,355
その他	3,056	2,990
貸倒引当金	△227	△227
投資その他の資産合計	7,315	7,118
固定資産合計	25,360	25,031
資産合計	77,124	75,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,317	13,918
短期借入金	4,356	4,538
未払法人税等	42	197
前受金	20,594	19,004
賞与引当金	428	223
保証工事引当金	3,224	2,497
受注工事損失引当金	551	1,391
固定資産撤去費用引当金	47	47
その他	1,023	1,212
流動負債合計	44,586	43,030
固定負債		
社債	90	90
長期借入金	12,393	12,259
退職給付引当金	4,499	4,384
役員退職慰労引当金	224	71
資産除去債務	537	526
負ののれん	99	94
その他	174	386
固定負債合計	18,019	17,812
負債合計	62,605	60,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	1,110	1,110
利益剰余金	9,272	9,564
自己株式	△9	△9
株主資本合計	12,910	13,203
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	751	723
その他の包括利益累計額合計	751	723
少数株主持分	855	868
純資産合計	14,518	14,794
負債純資産合計	77,124	75,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	18,021	17,042
売上原価	15,692	14,862
売上総利益	2,329	2,180
販売費及び一般管理費	1,156	1,260
営業利益	1,172	919
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	39	37
貸倒引当金戻入額	0	122
為替差益	59	1
その他	32	30
営業外収益合計	137	195
営業外費用		
支払利息	100	87
持分法による投資損失	—	32
その他	4	19
営業外費用合計	104	139
経常利益	1,205	975
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	530	—
固定資産除却損	0	2
減損損失	1	1
その他	10	—
特別損失合計	542	3
税金等調整前四半期純利益	668	972
法人税、住民税及び事業税	411	315
法人税等調整額	△61	150
法人税等合計	349	465
少数株主損益調整前四半期純利益	319	506
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	14
四半期純利益	322	491

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	319	506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	△31
繰延ヘッジ損益	△67	—
その他の包括利益合計	△417	△31
四半期包括利益	△98	475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△94	463
少数株主に係る四半期包括利益	△3	12

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他の部門 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	船舶部門	陸機部門	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,976	1,666	15,643	2,378	18,021	—	18,021
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	0	0	45	46	△46	—
計	13,976	1,667	15,643	2,423	18,067	△46	18,021
セグメント利益又は 損失(△)	2,543	△1,060	1,483	209	1,692	△520	1,172

- (注) 1 「その他の部門」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、空調・給排水・環境工事、機械部品製造、化粧品製造用機械製造、自動車部品製造、ソフトウェア開発等を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額520百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用520百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の部門 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	船舶部門	陸機部門	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,826	1,488	15,315	1,727	17,042	—	17,042
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	16	18	83	101	△101	—
計	13,828	1,504	15,333	1,811	17,144	△101	17,042
セグメント利益又は 損失(△)	1,541	△125	1,415	101	1,517	△598	919

- (注) 1 「その他の部門」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、空調・給排水・環境工事、機械部品製造、化粧品製造用機械製造、自動車部品製造、ソフトウェア開発等を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額598百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用598百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

【販売及び受注の状況】

部門別売上高

セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
船舶部門	13,976	77.6	13,826	81.2
陸機部門	1,666	9.2	1,488	8.7
その他の部門	2,378	13.2	1,727	10.1
合計	18,021	100.0	17,042	100.0

受注状況ならびに受注残高

セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
船舶部門	530	144,927	10,390	124,380
陸機部門	680	1,171	1,039	1,482
その他の部門	1,060	2,002	1,427	2,077
合計	2,271	148,100	12,856	127,940

(注) 当第1四半期連結会計期間末の船舶部門における新造船の受注残高隻数は、工事完成基準で31隻であります。